

OKA no village

半農半漁の「半農」にあたる既存の瀬浦みかんの果樹園を中心としたエリア。第1次産業のみだった果樹園を第6次産業化し、一つの観光拠点とした。地元市民のなかでも認知度の低い「瀬浦みかん」を収穫用のトラックや、関連施設の設置に伴い見える化し周知を広めていく目的も兼ねている。



tangerine farm ①cultivation

対象地大境を含む、富山県氷見市瀬浦地区は、富山湾に入り込むように流れる「対馬暖流」の影響で冬季の気温が県平均より1～2℃高い。この影響で、県内で唯一のみかん栽培地かつ、日本藍北端のみかんの栽培地である。一方で、氷見での認知度はまだ低い。平成18年に設立された瀬浦かんきつ研究会は「みかんの里」として瀬浦みかんの一大ブランド化を目指している。その取り組みの一環として、各家庭で一本瀬浦みかんの木を植樹する活動や、富山県名産のおかしとのコラボ商品の発売などが行われている。



restaurant [®]service

果樹園で採れたみかんや定置網で採れた魚を使った料理を提供するレストラン。
虻が島が見える海側のテラス席と、みかんのパーゴラがある広場側のテラス席がある。

Shop okanoue [®]service

加工場で生産した加工品・みかんなどを販売する